

第20回JDA秋季ディベート大会 判定用紙

日付: 2016年11月12日

試合会場 決勝

肯定側: Arc of Argument

否定側: IF

判定理由・コメント

Case → 与子ことにより、国家としてのキレは
はたせる。

DA(CP) → 完全持論により、理屈の概念での問題を解決するには
必ずしも必要ではなかった。
逆風の進行可能に示す。

国家の立場として存在性、また同意的な立場を導出していったのが。

CP. そういった一側は存在する (IFが20%)
しかし、日本として他国と比べてどうなのか

AB. 完全持論を述べたが、価値観のDのキレがのこる。
CPで済ませ、存在性を示す、という方が不明

Case
これは、Dの価値観や、日本として他国と比べてどうなのか
日本の国家として大軍。

この試合における勝者は: Arc of Argument

審査員署名: _____

第20回JDA秋季ディベート大会 判定用紙

日付: 2017年11月12日

試合会場 決勝

肯定側: Arts of Argument

否定側: 4-6 IF

判定理由・コメント

Case: 立証段階でやや疑問点があるが根本主張としては残る。

D-1~3の論点については立証段階で論題への当てはめが不十分で、決り手で否定側のCPを退けるのは正しい。

Neg: 今-3のよりな受入拒否を考えると、CPや資金集めの実行性がやや怪しいと感じた。命の人殺しを考えるべきという点にかたは、AFF同様、相手の議論を排除するほどの強さにはなかつた。

Caseのギムナシが残り、NegのCPは実行性に疑問があるため、

CP争奪戦は難しいと考え、AFFの勝利

この試合における勝者は: Arts of Argument

審査員署名: _____